



2020年11月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年7月15日

上場会社名 株式会社ファンドクリエーショングループ 上場取引所 東
 コード番号 3266 URL http://www.fc-group.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田島 克洋
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 阪本 浩司 (TEL) 03 (5212) 5212
 四半期報告書提出予定日 2020年7月15日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年11月期第2四半期の連結業績 (2019年12月1日～2020年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年11月期第2四半期	641	29.7	36	—	17	—	15	—
2019年11月期第2四半期	494	△49.6	△75	—	△86	—	△87	—

(注) 包括利益 2020年11月期第2四半期 △72百万円(—%) 2019年11月期第2四半期 △90百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年11月期第2四半期	0.42	—
2019年11月期第2四半期	△2.33	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年11月期第2四半期	3,623	2,353	64.8
2019年11月期	4,017	2,449	60.8

(参考) 自己資本 2020年11月期第2四半期 2,349百万円 2019年11月期 2,443百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年11月期	—	0.00	—	1.00	1.00
2020年11月期	—	0.00	—	—	—
2020年11月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
 2020年11月期の配当金につきましては、現在は未定です。

3. 2020年11月期の連結業績予想 (2019年12月1日～2020年11月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,110	95.8	220	83.3	200	108.7	160	93.4	4.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 ー社(社名)ー、除外 ー社(社名)ー
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2020年11月期 2Q	37,649,371株	2019年11月期	37,492,371株
2020年11月期 2Q	27,501株	2019年11月期	27,500株
2020年11月期 2Q	37,561,728株	2019年11月期 2Q	37,464,871株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間(2019年12月1日～2020年5月31日)における我が国経済は、企業収益の向上や雇用・所得環境の改善が継続するものの、米中間の貿易摩擦問題、インバウンド需要の低下、消費税増税の影響等もあり、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。また、新型コロナウイルス感染症が世界経済に及ぼす影響やそれによる金融資本市場の混乱についても、今後留意が必要な状況となっております。

当社グループの主要事業が属する不動産業界では、低金利環境下での良好な資金調達環境を背景とした国内外の投資家の物件取得意欲に支えられ、不動産市場は堅調な市場環境を維持しておりますが、その一方で、今後の新規物件の取得にあたっては、取得価額と収益性のバランスを慎重に見極めることが必要となってきております。

また、太陽光発電業界におきましては、長期間にわたって安定して高い利回りが期待できる点、残価リスクがほぼない点、現在の良好な資金調達環境などにより、利回り商品としての需要拡大が見込まれております。

こうした状況の下、アセットマネジメント事業では、引き続きファンド運用資産残高、不動産等受託資産残高の増加に向けて、投資家ニーズに適合した魅力的な商品開発に努めております。

インベストメントバンク事業については、割安な不動産物件への投資・バリューアップを行うべく国内外の物件のソーシングに努めました。国内不動産では、開発物件やバリューアップ物件についてリースアップによる満室稼働や各種のバリューアップ施策を施した上での販売活動を推進しております。また、当第1四半期に行った不動産再開発プロジェクトに対する投融資については、第2四半期の収益計上を行うことができました。海外不動産につきましても、バリューアップ施策を行った米国カリフォルニア州の物件の販売を行いました。また、引き続き米国不動産を中心としたソーシング活動も継続しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は売上高641百万円(前年同期比29.7%増)、営業利益36百万円(前年同期の営業損失は75百万円)、経常利益17百万円(前年同期の経常損失は86百万円)、親会社株主に帰属する四半期純利益15百万円(前年同期の親会社株主に帰属する四半期純損失は87百万円)となりました。

<アセットマネジメント事業>

当第2四半期連結会計期間末において、当社グループが運用するファンド運用資産残高は158億円(一部円換算US\$1.00=107.53円)、当社グループがアセットマネジメント業務を受託している不動産等の受託資産残高は183億円となりました。

不動産ファンドにつきましても、アセットマネジメントフィー及びファンド管理報酬等を計上いたしました。証券ファンドにつきましても、外国投資信託の管理報酬等を計上いたしました。また、太陽光発電ファンド事業につきましてもアセットマネジメントフィー等を計上いたしました。この結果、アセットマネジメント事業全体では、売上高221百万円(前年同期比57.9%増)、セグメント利益113百万円(前年同期比286.5%増)となりました。

<インベストメントバンク事業>

不動産投資等部門では、国内外の販売用不動産の売却や保有不動産の賃料収入等により409百万円を計上いたしました。証券投資等部門では、金融商品仲介業務による報酬等により9百万円計上いたしました。この結果、インベストメントバンク事業全体では、売上高419百万円(前年同期比18.5%増)、セグメント利益52百万円(前年同期比115.9%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末において、資産、負債及び純資産の状況は以下のとおりであります。

(資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ393百万円減少し3,623百万円となりました。これは主に、販売用不動産が232百万円、営業投資有価証券が147百万円減少したことなどによるものです。

(負債の部)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ298百万円減少し1,269百万円となりました。これは主に、借入金が214百万円減少したことなどによるものです。

(純資産の部)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ95百万円減少し2,353百万円となりました。これは主に、利益剰余金が、親会社株主に帰属する四半期純利益15百万円の計上により増加した一方で、配当金の支払いにより37百万円減少したことなどによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間における連結業績は上記のとおりであり、2020年1月14日付で発表いたしました連結業績予想に変更はありません。なお、今後の業績等につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大やその収束時期など様々な要因により大きく異なる可能性があります。今後、何らかの変化がある場合には速やかに開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	898	807
売掛金	21	27
未収入金	55	138
有価証券	95	73
営業投資有価証券	507	360
販売用不動産	1,416	1,183
未成工事支出金	58	68
短期貸付金	34	—
立替金	188	232
その他	81	18
流動資産合計	3,357	2,910
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7	11
工具、器具及び備品（純額）	15	14
土地	402	402
有形固定資産合計	425	428
無形固定資産	0	0
投資その他の資産		
投資有価証券	108	103
その他	125	181
投資その他の資産合計	234	285
固定資産合計	660	713
資産合計	4,017	3,623
負債の部		
流動負債		
短期借入金	1,077	818
1年内返済予定の長期借入金	6	23
未払金	107	61
未払法人税等	27	—
賞与引当金	—	34
預り金	3	13
前受収益	14	19
投資損失引当金	16	16
その他	50	37
流動負債合計	1,304	1,024
固定負債		
長期借入金	184	212
その他	78	32
固定負債合計	263	245
負債合計	1,567	1,269

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年11月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,171	1,179
資本剰余金	664	672
利益剰余金	479	457
自己株式	△1	△1
株主資本合計	2,313	2,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	129	41
為替換算調整勘定	0	0
その他の包括利益累計額合計	129	41
新株予約権	6	3
非支配株主持分	0	0
純資産合計	2,449	2,353
負債純資産合計	4,017	3,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年12月1日 至2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年12月1日 至2020年5月31日)
売上高	494	641
売上原価	302	334
売上総利益	192	306
販売費及び一般管理費	267	270
営業利益又は営業損失(△)	△75	36
営業外収益		
受取利息及び配当金	1	1
補助金収入	—	2
その他	0	0
営業外収益合計	1	4
営業外費用		
支払利息	5	13
資金調達費用	0	6
新株予約権発行費	3	—
その他	2	3
営業外費用合計	11	22
経常利益又は経常損失(△)	△86	17
特別利益		
その他	0	1
特別利益合計	0	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86	19
法人税、住民税及び事業税	1	1
法人税等調整額	△0	2
法人税等合計	0	3
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△87	15
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△0
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△87	15

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△87	15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3	△87
為替換算調整勘定	△0	△0
その他の包括利益合計	△3	△87
四半期包括利益	△90	△72
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△90	△72
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△86	19
減価償却費	1	2
受取利息及び受取配当金	△1	△1
支払利息	5	13
為替差損益(△は益)	1	1
新株予約権発行費	3	—
売上債権の増減額(△は増加)	△8	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	23	34
有価証券の増減額(△は増加)	26	21
営業投資有価証券の増減額(△は増加)	15	25
販売用不動産の増減額(△は増加)	89	232
未成工事支出金の増減額(△は増加)	△17	△9
未収入金の増減額(△は増加)	△0	6
立替金の増減額(△は増加)	26	△43
前払費用の増減額(△は増加)	△32	0
未払金の増減額(△は減少)	△5	△46
未払消費税等の増減額(△は減少)	△12	39
預り金の増減額(△は減少)	△0	△1
長期前受収益の増減額(△は減少)	△4	△4
その他	△23	△29
小計	△1	253
利息及び配当金の受取額	1	1
利息の支払額	△5	△13
法人税等の支払額	△6	△106
法人税等の還付額	8	44
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3	179
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	—	△4
短期貸付けによる支出	△36	△235
短期貸付金の回収による収入	—	235
長期貸付けによる支出	—	△26
その他	△0	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△36	△31
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	78	△259
長期借入れによる収入	—	50
長期借入金の返済による支出	△1	△5
配当金の支払額	△37	△37
新株予約権の行使による株式の発行による収入	—	13
その他	△2	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	36	△238
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1	△1
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4	△91
現金及び現金同等物の期首残高	893	898
現金及び現金同等物の四半期末残高	888	807

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2018年12月1日 至 2019年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	140	328	25	494
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	140	328	25	494
セグメント利益	29	23	0	53

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	53
セグメント間取引消去	2
全社費用(注)	△132
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△75

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2019年12月1日 至 2020年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			合計
	アセットマネ ジメント事業	インベストメントバンク事業		
		不動産投資等部門	証券投資等部門	
売上高				
外部顧客への売上高	221	409	9	641
セグメント間の内部売上高又は 振替高	—	—	—	—
計	221	409	9	641
セグメント利益又は損失(△)	113	76	△23	165

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

利益	金額(百万円)
報告セグメント計	165
セグメント間取引消去	1
全社費用(注)	△131
四半期連結損益計算書の営業利益	36

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。